

# 「ご縁に恵まれた幸多き人生でした」

父が亡くなった二月三日、この日は両親の結婚記念日でもあります。苦楽を分かち合い、長年寄り添って歩んできた母が、迎えにきたのかも知らない…。そう思わずにはいられません。

職人だった父は、創業者でありながら経営については正直、苦手な部分があったと感じております。うまくいかずに周りに迷惑をかけることもありました。けれども建て直しに成功し、こうして社の今があるのは父の人望が厚かったからでしょう。「一度決めたことは守れ」それが口癖。一本気で何事にも全力で取り組み、趣味も存分に楽しんできました。盆栽に親しみ多い時には三千もの鉢を並べ、ゴルフは九十三歳まで続けて笑い声を響かせていたものです。彩り豊かな毎日を送ってきた父は、きっと幸せな気持ちで人生を終えられたはずです。私も出来る限りのことをしてきましたので悔いなどありません。これからまた夫婦で仲良く楽しく過ごしてほしい、そう願うばかりです。

父守田 晴は、平成二十九年二月三日、満九十七歳にてまっすぐ歩んだ生涯に幕を下ろしました。

父の人生が実り多きものとなりましたのは、温かな手をさしのべてくださった皆様のおかげでございます。賜りました多大なるご厚情に深く感謝を申し上げます。

本日はご多用中にもかかわらずご会葬頂き、誠に有難うございました。略儀ではございますが書状をもってお礼申し上げます。

平成二十九年二月五日


豊橋市多米町蟬川三三番地二四四

喪主 守田 智洋

外親 戚一同

守田光学工業株式会社

尚本日は何かと混雑に取り紛れ不行き届きの段あしからず  
ご容赦下さいますようお願い申し上げます



お礼のことは